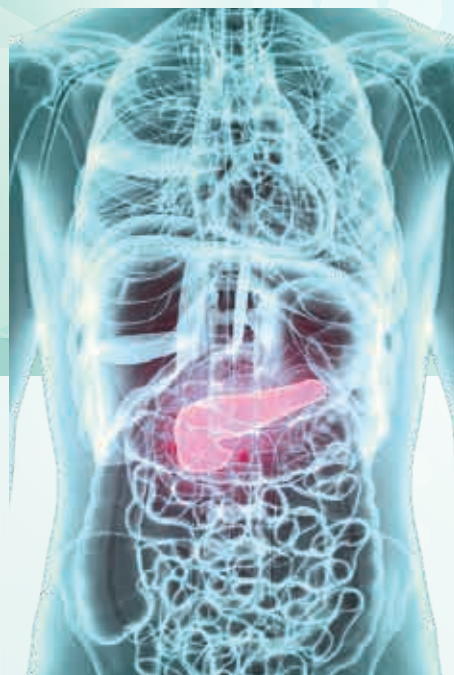


単独検査

すい ぞう

膵臓ドック のご案内



膵臓がんは症状が出にくいいため早期発見の難しい病気です。
見つかった時には手術ができないことも多く、
がんによる死亡数第4位※の悪性度の高いがんです。
一般的な健診・ドックでは発見できないことも多く、
より専門性の高い検査である膵臓MRIをおすすめします。

※「がんの統計2024」より

このような方に
おすすめします

- ▶ 家族に膵臓がんになった人がいる方
- ▶ 糖尿病の方（特に最近糖尿病を発症した方）
- ▶ 飲酒量が多い方
- ▶ 肥満の方
- ▶ 喫煙している、またはしていた方
- ▶ 慢性膵炎の方

※腹部超音波検査で膵臓が見えにくいと言われたことがある方も
一度詳しく検査することをおすすめします

検査内容

MRI検査
～ MRCP ～

検査日時

平日午後
15:00 / 15:30

人間ドックや定期健診とは
別日でのご受診となります

検査料金

33,000円（税込）

お食事券
プレゼント付

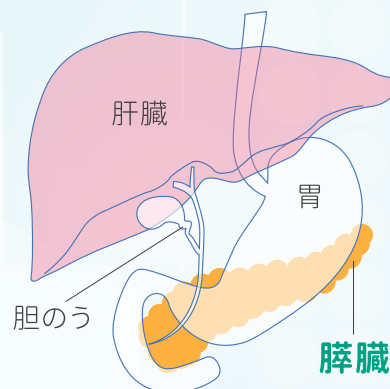
詳しい内容は裏面をご覧ください

膵臓がんについて

膵臓がんの主な症状には腹痛、食欲不振、腹部膨満感、体重減少、黄疸、腰や背中痛みなどがありますが、症状が出てくる頃には既に進行がんであることが多いのが現状です。*

膵臓は胃の裏側に位置するため腹部超音波検査では見えづらいこともあり、一般的な健診・ドックだけでは発見できないことも多い病気です。膵臓がんの危険因子(表面参照)に当てはまる方は、症状がなくとも定期的な検査を受けましょう。

※膵臓がんの5年相対生存率8.5% 「がんの統計2024」より

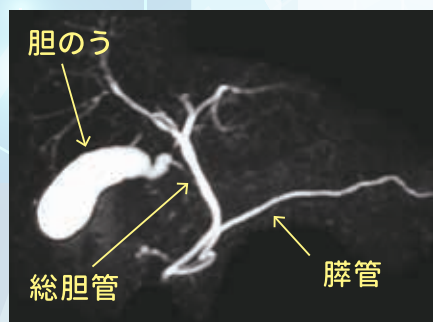


膵臓がんは初期段階では症状がほとんど現れず、病気を進行させてしまうため、「沈黙の臓器」と言われています。

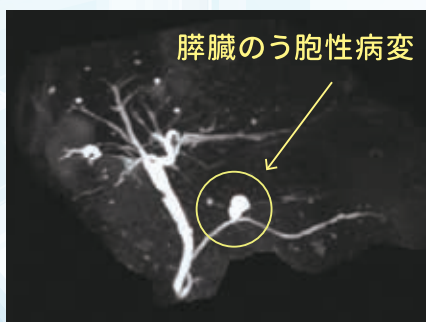
MRCPについて

放射線被ばくのないMRI機器を用いた検査です。経口消化管造影剤(内服薬)を使用することで、膵管・胆管・胆のうが見えやすくなり、膵臓がんの前段階によく見られる病変(膵臓のう胞性病変など)を見つけることで早期診断、早期治療に繋がります。また、膵臓以外にも胆管や胆のうの病気も発見することができます。検査時間は約20分～30分程度です。

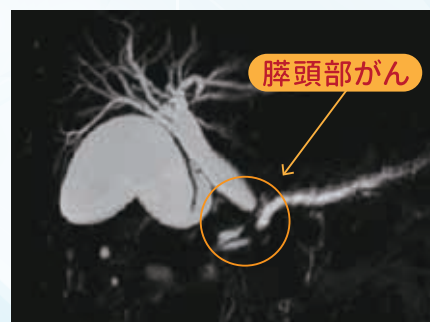
※MRCP単独検査の膵癌診断における感度は95%という報告があります。「膵癌診療ガイドライン2022」より



実際のMRCP画像



良性病変画像



悪性病変画像

※腫瘍による膵管閉塞及び抹消膵管の拡張がみられる

【注意事項】

- MRI検査を行いますので、ペースメーカー等の医療機器類が体内に入っている方は、検査をお受けいただけません。詳しくは、当クリニックHP内の健診注意事項欄「MRIを受診できないことがありますか?」をご参照ください。
 - 6時間の絶食が必要ですので、昼食はとらずにお越しください。水分はお水に限り検査前までお飲みいただけます。
 - 検査中に呼吸指示(息止め)があります。
- ※息止め不良の場合、正確な検査ができないことがあります。予めご了承ください。



お申し込み、お問い合わせはこちらまでお気軽にご連絡ください



医療法人社団 新生会

大阪なんばクリニック

TEL:06-6648-8571

平日 8:20~16:50
土曜 8:20~11:50